

2025 年度「応用ゼミナール」ミニシラバス（国際観光学科）

担当者名	青木 洋高
授業のテーマ	ご当地グルメを活用した地域プロモーション
授業の内容	ご当地グルメをはじめ、その土地に根差した「食」を活用して地域活性化に取り組む事例が増えています。「食」は観光行動において重要な要素になっているほか、急増するインバウンド旅行者にとっても日本の「食」は魅力的なコンテンツです。ご当地グルメによる地域価値の向上につながる地域プロモーションのプロセスについて、具体的な事例をもとに検討を行います。ゼミ生主体の対話やディスカッション、プレゼンテーションなどの機会を積極的に設けます。
サブテキストなど	資料類は適宜、配布します。
お勧め対象	ご当地グルメ、フードツーリズムに関心のある学生 地域プロモーションの手法について学びたい学生

担当者名	久保 泉
授業のテーマ	ホテル業界を知ろう
授業の内容	現在、日本は観光立国を目指し、訪日外国人旅行者数とその消費額の増進を図っています。これを背景に、旅行者受け入れのためにホテル・旅館の新規開業、及び既存の宿泊施設の改修工事等が増加しています。このようにホテル業界はかつて無い変革期に入っていると考えます。報道記事等の資料をもとに、ホテル業界で何が起きているのか、なぜ起きているのかなどをディスカッションしながら考えたいと思います。
サブテキストなど	必要に応じて配布します。
お勧め対象	ホテル業界を通じて社会を見ることに関心のある人にお勧めします。

担当者名	清水麻帆
授業のテーマ	文化観光から「持続可能な社会」を考える～世界遺産からポップカルチャーまで～
授業の内容	世界遺産の登録されることは地域や社会にとって本当に良いことなのだろうか。リゾートやエンターテインメントを含むカジノ観光は自然や日常生活に利益をもたらしているのか。アニメや映画などのコンテンツツーリズム（聖地巡礼）は持続して地域に貢献できるのか。これらの「是非」について、グループでディスカッションやディベートを実践し、皆で結論を導き出します。ゲーム感覚で専門知識やディベート・ディスカッションのスキルの習得を授業の目的としています。これらのスキルを卒業論文や企業面接など、今後活かせるよう取り組んでもらえたらと思います。
サブテキストなど	適宜、資料やプリント等は授業内で配布します。
お勧め対象	・「文化」や「観光」、「持続可能な社会」、「まちづくり」などに関心のある人 ・ディベートやディスカッション（理論的な思考や他の人に自分の主張を伝えるため）のスキルを身につけたい人

担当者名	種村 聡子
授業のテーマ	ホスピタリティ・マネジメント入門
授業の内容	ホスピタリティ・ビジネスの具体的事例から、サービス提供や接客に必要なことは何かを考えます。ロボットによる接客が選ばれる一方で、ホスピタリティ・マインド溢れる接客を求める客もいます。従業員の管理やホスピタリティ・マインドの醸成について、ディスカッションをします。授業では、提示する文献リストから各人が選んだ文献の内容をまとめ、発表をします。また、ホスピタリティ産業や接客担当者が抱える問題をテーマにディベートを試みます。
サブテキストなど	文献は教員が準備します。井上真一(2019)『Peach のやりくり』東洋経済新報社、中沢康彦(2009)『星野リゾートの事件簿』日経 BP などの書籍。その他、必要に応じて指示します。
お勧め対象	将来、接客業や観光関連産業に就きたいと考えている学生、サービスやホスピタリティに興味を持っている学生。

担当者名	中井治郎
授業のテーマ	旅を「読む」そして「考える」～これからのツーリズム・リテラシー
授業の内容	観光の現場では旅をする人の姿勢が問われ始めています。それは観光マナーなどの問題だけではなく、どのようにすればもっと「深い」旅ができるのかという問い直しともいえます。本ゼミではオードリー若林さんの旅行記『表参道のセレブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬』と自分自身の旅行経験を題材とし、文献講読とグループ・ディスカッションを通して「旅する人は何を体験し、何を感じ、そしてどのように〈自分〉が変わるのか」という視点から分析的に現代の観光体験を考える訓練を行います。
サブテキストなど	若林正恭『表参道のセレブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬』（文庫版を推奨）の入手が必須となります
お勧め対象	ひとり旅に憧れのある人、作品の感想を誰かと語り合うのが好きな人。

担当者名	黛 陽子
授業のテーマ	文化、民族、ウェルビーイングの観光
授業の内容	旅先での見聞、体験、交流、感動は、非日常的な未知との出会いが心身の健康にプラスの効用をもたらすとともに、豊かな人格形成、多様な人生経験の一部となります。このテーマに「幸せと健康(ウェルビーイング)」があります。 サステナブル(持続可能)なツーリズムとは、住む人も訪れる人も、双方でハッピーでなければ続きません。キーワードは、現地の人々の「生活」、「私たち自身」、「おたがいの幸せと健康(ウェルビーイング)」。この関係が続く観光について事例を示しながら、皆でディスカッションし、理解を深めます。
サブテキストなど	その時々で配布
お勧め対象	観光先の文化や生活慣習、現地の人々とのコミュニケーションを「楽しい、面白い、嬉しい!」と思える方にお勧めします!